

平成 29 年 11 月 14 日
佐賀県国民健康保険課

平成 30 年度佐賀県国民健康保険標準保険税率（仮係数） の算定結果について

平成 30 年度からの国民健康保険制度の改正に伴い、県は各市町が保険税率を定める際に参考とする標準保険税率を示すこととなっており、平成 30 年 1 月、国が示す「確定係数」を用いて算定した標準保険税率を各市町に提示する予定としています。

今回、各市町が事前に保険税率を検討するために、国が示す「仮係数」を用いて平成 30 年度標準保険税率を算定（以下「仮算定」という。）したところ、資料 5 - 1 のとおりとなりました。

また、保険税額の具体的なイメージがつかめるよう、仮算定を基に二つのモデル世帯における市町毎の年間保険税額を、資料 5 - 2 のとおり試算しましたので参考としてください。

なお、1 月に提示する確定係数による算定結果は、今回の仮算定とは異なるものとなる見込みであること、さらに、各市町は県が提示した標準保険税率（確定係数）を参考にし、保険税率を定めるため、各市町が定める平成 30 年度保険税率は標準保険税率(確定係数)と同一にならない場合もあることにご留意ください。

記

1 仮算定の結果

資料 5 - 1 のとおり

2 モデル世帯の年間保険税額

資料 5 - 2 のとおり

3 仮算定の主な前提条件

- (1) 保険給付費：平成 24 年度から平成 26 年度までの 2 ヶ年の診療費の伸び率を参考に、平成 28 年度の診療費を用いて推計
- (2) 国の公費拡充：全国 1,700 億円規模のうち、1,500 億円が計上され、都道府県に配分（公費の一部は未反映）
- (3) 市町毎の医療費水準等：市町間の医療費水準の差を納付金に反映
- (4) 激変緩和措置：新制度導入に伴い一定割合（自然増分 3.69%/年）を超えて負担が増加する市町への補填（平成 28 年度賦課すべき保険税額（理論値）との比較）

今回の仮算定では、上峰町・有田町・江北町の3町（仮算定により平成30年度の保険税額が高く算定されたり、平成28年度に賦課すべき保険税額が低く算定されたことによる乖離が大きい市町）が該当。

基金繰入や法定外一般会計繰入等を行って保険税を引き下げた部分は対象とならない。

(5) その他：これまでの市町単位での前期高齢者の加入割合や所得水準の差等を県単位で調整

4 新制度導入に伴う保険税額の増減（理論値比較）

○佐賀県の一人当たり年間平均の保険税額（医療分+後期高齢者支援分+介護納付金分）

平成30年度に必要な保険税額 （決算補填目的の法定外一般会計繰入等「無」）	125,666 円
平成28年度に本来賦課すべき保険税額 （決算補填目的の法定外一般会計繰入等「無」）	129,388 円
増減額（ - ）	3,722 円

制度改革に伴う国の公費拡充等により、医療費2ヶ年分の伸びにも関わらず、平成30年度の県平均の一人当たり保険税額は減少

【参考】

1 参考資料

- (1) 資料5 - 1：平成30年度標準保険税率（仮算定）
・平成29年度の現行税率との比較
- (2) 資料5 - 2：平成30年度標準保険税率（仮算定）によるモデル世帯の年間保険税額
- (3) 資料5 - 3：国保制度改革の概要

2 新しい国保制度改革の概要

低所得者対策のために平成27年度から行われている全国規模での1,700億円の財政支援拡充に加え、平成30年度からは、さらに1,700億円の追加財政支援が行われ、国保に対して毎年度3,400億円規模の財政支援が行われることにより国保の財政基盤が強化される。

県が財政運営の責任主体となり安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営において中心的な役割を担うこととなる。

市町は、地域住民との密接な関係の中、資格管理、保険給付、保険税の決定、賦課徴収、保健事業等、地域におけるきめ細かい事業を引き続き担う。

県と市町の財政上の主な役割分担は次のとおり

【県】 市町ごとの納付金を決定

市町ごとに標準保険税率を算定・公表

市町に対して保険給付に必要な費用を全額交付

【市町】 県に対して納付金を納付

標準保険税率を参考にして保険税率を決定

3 納付金及び標準保険税率の算定及び提示

○県は、新制度において毎年度、市町毎の納付金及び標準保険税率の算定を行い、各市町は県が定めた納付金を納めるため、県が示した標準保険税率を参考にして、条例により保険税率を決定することとなる。

○今回は、県が新制度移行に向けて市町に予算編成や条例改定等を準備してもらうため、国から示された「仮係数」を用いて、標準保険税率の仮算定を行ったもの。

仮係数...平成 28 年度決算額等を踏まえた平成 30 年度の予算の見通し（ただし、診療報酬改定等は未反映）

○県では 12 月末に国から示される「確定係数」を用いて、改めて納付金及び標準保険税率の算定を行い、1 月に市町に提示する。

確定係数...平成 30 年度の国の予算編成（診療報酬改定等を反映）

【市町の保険税率が決定されるまでの流れ】

平成 29 年 11 月 県 市町：標準保険税率の提示（仮係数）...**今回公表分**

平成 29 年 11 月～ 市町：県の算定結果を参考に保険税率の検討

平成 30 年 1 月 県 市町：納付金及び標準保険税率の提示（確定係数）

” 1 月～ 市町：県の算定結果を参考に保険税率の検討、議案の作成

” 3 月 市町：各市町議会へ条例改正案を上程し、議決

○平成30年度標準保険税率(仮算定)

保険者名	税率区分	医療分			後期高齢者支援分			介護納付金分			医療+後期+介護		
		所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)
佐賀市	現行	9.80	23,800	36,000	2.30	7,400	6,000	2.80	9,600	5,600	14.90	40,800	47,600
	仮算定	10.36	25,037	36,534	2.66	8,447	6,605	2.90	10,086	5,401	15.92	43,570	48,540
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	0.56	1,237	534	0.36	1,047	605	0.10	486	▲ 199	1.02	2,770	940
	仮算定/現行 (伸び率)	105.71%	105.20%	101.48%	115.65%	114.15%	110.08%	103.57%	105.06%	96.45%	106.85%	106.79%	101.97%
唐津市	現行	10.80	22,500	33,000	3.00	6,500	8,000	3.00	10,000	6,000	16.80	39,000	47,000
	仮算定	10.48	22,450	31,776	2.98	6,719	7,982	2.55	9,149	4,866	16.01	38,318	44,624
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	▲ 0.32	▲ 50	▲ 1,224	▲ 0.02	219	▲ 18	▲ 0.45	▲ 851	▲ 1,134	▲ 0.79	▲ 682	▲ 2,376
	仮算定/現行 (伸び率)	97.04%	99.78%	96.29%	99.33%	103.37%	99.78%	85.00%	91.49%	81.10%	95.30%	98.25%	94.94%
鳥栖市	現行	9.80	24,000	36,000	2.80	7,000	9,000	2.90	10,000	6,000	15.50	41,000	51,000
	仮算定	10.32	25,318	38,403	2.69	7,455	9,625	2.36	9,423	5,286	15.37	42,196	53,314
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	0.52	1,318	2,403	▲ 0.11	455	625	▲ 0.54	▲ 577	▲ 714	▲ 0.13	1,196	2,314
	仮算定/現行 (伸び率)	105.31%	105.49%	106.68%	96.07%	106.50%	106.94%	81.38%	94.23%	88.10%	99.16%	102.92%	104.54%
多久市	現行	10.10	25,700	31,500	2.60	6,300	7,200	2.10	9,300	4,400	14.80	41,300	43,100
	仮算定	11.72	28,875	33,792	3.01	7,056	7,701	2.23	9,599	4,114	16.96	45,530	45,607
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	1.62	3,175	2,292	0.41	756	501	0.13	299	▲ 286	2.16	4,230	2,507
	仮算定/現行 (伸び率)	116.04%	112.35%	107.28%	115.77%	112.00%	106.96%	106.19%	103.22%	93.50%	114.59%	110.24%	105.82%
伊万里市	現行	9.80	23,800	36,900	2.70	7,100	8,900	2.60	10,600	6,700	15.10	41,500	52,500
	仮算定	9.74	19,761	29,756	2.89	6,650	8,098	2.31	8,406	4,177	14.94	34,817	42,031
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	▲ 0.06	▲ 4,039	▲ 7,144	0.19	▲ 450	▲ 802	▲ 0.29	▲ 2,194	▲ 2,523	▲ 0.16	▲ 6,683	▲ 10,469
	仮算定/現行 (伸び率)	99.39%	83.03%	80.64%	107.04%	93.66%	90.99%	88.85%	79.30%	62.34%	98.94%	83.90%	80.06%
武雄市	現行	10.00	25,500	36,000	2.60	7,500	8,000	2.40	10,500	6,300	15.00	43,500	50,300
	仮算定	12.22	25,574	35,090	2.93	7,342	7,610	2.40	8,686	4,709	17.55	41,602	47,409
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	2.22	74	▲ 910	0.33	▲ 158	▲ 390	0.00	▲ 1,814	▲ 1,591	2.55	▲ 1,898	▲ 2,891
	仮算定/現行 (伸び率)	122.20%	100.29%	97.47%	112.69%	97.89%	95.13%	100.00%	82.72%	74.75%	117.00%	95.64%	94.25%
鹿島市	現行	11.10	25,200	37,100	2.10	4,600	6,800	2.35	14,300	8,600	15.55	44,100	52,500
	仮算定	10.41	23,042	34,097	2.97	6,555	9,736	1.89	12,007	6,572	15.27	41,604	50,405
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	▲ 0.69	▲ 2,158	▲ 3,003	0.87	1,955	2,936	▲ 0.46	▲ 2,293	▲ 2,028	▲ 0.28	▲ 2,496	▲ 2,095
	仮算定/現行 (伸び率)	93.78%	91.44%	91.91%	141.43%	142.50%	143.18%	80.43%	83.97%	76.42%	98.20%	94.34%	96.01%

○平成30年度標準保険税率(仮算定)

保険者名	税率区分	医療分			後期高齢者支援分			介護納付金分			医療+後期+介護		
		所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)
小城市	現行	9.60	26,400	32,400	2.40	6,800	8,000	2.50	9,100	5,700	14.50	42,300	46,100
	仮算定	9.90	26,601	33,497	2.70	6,800	8,000	2.50	7,880	4,337	15.10	41,281	45,834
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	0.30	201	1,097	0.30	0	0	0.00	▲ 1,220	▲ 1,363	0.60	▲ 1,019	▲ 266
	仮算定/現行 (伸び率)	103.13%	100.76%	103.39%	112.50%	100.00%	100.00%	100.00%	86.59%	76.09%	104.14%	97.59%	99.42%
嬉野市	現行	10.50	26,100	38,600	2.40	5,400	8,200	2.50	9,400	5,100	15.40	40,900	51,900
	仮算定	10.35	25,491	37,411	2.73	6,163	9,286	2.33	8,800	4,301	15.41	40,454	50,998
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	▲ 0.15	▲ 609	▲ 1,189	0.33	763	1,086	▲ 0.17	▲ 600	▲ 799	0.01	▲ 446	▲ 902
	仮算定/現行 (伸び率)	98.57%	97.67%	96.92%	113.75%	114.13%	113.24%	93.20%	93.62%	84.33%	100.06%	98.91%	98.26%
神埼市	現行	9.60	24,000	32,000	2.40	6,000	8,000	2.20	9,400	5,400	14.20	39,400	45,400
	仮算定	10.25	23,904	30,430	2.77	6,847	8,716	2.09	9,241	4,750	15.11	39,992	43,896
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	0.65	▲ 96	▲ 1,570	0.37	847	716	▲ 0.11	▲ 159	▲ 650	0.91	592	▲ 1,504
	仮算定/現行 (伸び率)	106.77%	99.60%	95.09%	115.42%	114.12%	108.95%	95.00%	98.31%	87.96%	106.41%	101.50%	96.69%
吉野ヶ里町	現行	9.80	23,800	32,000	2.10	5,200	7,000	1.80	6,300	5,500	13.70	35,300	44,500
	仮算定	10.25	23,902	32,432	2.92	7,089	9,630	2.18	7,874	6,184	15.35	38,865	48,246
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	0.45	102	432	0.82	1,889	2,630	0.38	1,574	684	1.65	3,565	3,746
	仮算定/現行 (伸び率)	104.59%	100.43%	101.35%	139.05%	136.33%	137.57%	121.11%	124.98%	112.44%	112.04%	110.10%	108.42%
基山町	現行	8.90	27,000	34,000	1.70	5,300	6,600	2.40	8,600	5,000	13.00	40,900	45,600
	仮算定	8.58	25,343	29,907	2.63	8,366	9,873	2.44	9,466	4,812	13.65	43,175	44,592
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	▲ 0.32	▲ 1,657	▲ 4,093	0.93	3,066	3,273	0.04	866	▲ 188	0.65	2,275	▲ 1,008
	仮算定/現行 (伸び率)	96.40%	93.86%	87.96%	154.71%	157.85%	149.59%	101.67%	110.07%	96.24%	105.00%	105.56%	97.79%
上峰町	現行	9.00	25,000	30,000	2.00	6,000	7,000	2.50	9,000	5,000	13.50	40,000	42,000
	仮算定	9.85	25,066	29,645	2.77	7,842	9,014	2.07	8,350	4,199	14.69	41,258	42,858
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	0.85	66	▲ 355	0.77	1,842	2,014	▲ 0.43	▲ 650	▲ 801	1.19	1,258	858
	仮算定/現行 (伸び率)	109.44%	100.26%	98.82%	138.50%	130.70%	128.77%	82.80%	92.78%	83.98%	108.81%	103.15%	102.04%
みやき町	現行	9.70	25,700	33,000	2.20	6,300	7,600	2.30	8,800	5,000	14.20	40,800	45,600
	仮算定	9.31	25,703	33,001	2.79	6,301	7,602	1.97	8,802	5,001	14.07	40,806	45,604
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	▲ 0.39	3	1	0.59	1	2	▲ 0.33	2	1	▲ 0.13	6	4

○平成30年度標準保険税率(仮算定)

保険者名	税率区分	医療分			後期高齢者支援分			介護納付金分			医療+後期+介護		
		所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)
	仮算定/現行 (伸び率)	95.98%	100.01%	100.00%	126.82%	100.02%	100.03%	85.65%	100.02%	100.02%	99.08%	100.01%	100.01%
玄海町	現行	7.70	23,500	28,000	2.50	7,700	9,500	1.30	6,500	4,000	11.50	37,700	41,500
	仮算定	7.31	24,324	33,183	2.40	8,081	11,024	1.83	11,493	9,333	11.54	43,898	53,540
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	▲ 0.39	824	5,183	▲ 0.10	381	1,524	0.53	4,993	5,333	0.04	6,198	12,040
	仮算定/現行 (伸び率)	94.94%	103.51%	118.51%	96.00%	104.95%	116.04%	140.77%	176.82%	233.33%	100.35%	116.44%	129.01%
有田町	現行	10.15	26,000	33,100	2.63	6,900	9,400	1.62	7,400	4,000	14.40	40,300	46,500
	仮算定	9.77	23,632	26,836	1.84	4,637	5,265	2.19	7,634	5,426	13.80	35,903	37,527
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	▲ 0.38	▲ 2,368	▲ 6,264	▲ 0.79	▲ 2,263	▲ 4,135	0.57	234	1,426	▲ 0.60	▲ 4,397	▲ 8,973
	仮算定/現行 (伸び率)	96.26%	90.89%	81.08%	69.96%	67.20%	56.01%	135.19%	103.16%	135.65%	95.83%	89.09%	80.70%
大町町	現行	9.50	24,600	31,600	3.30	7,000	8,200	2.40	9,300	5,800	15.20	40,900	45,600
	仮算定	10.95	28,619	35,736	2.77	6,250	7,077	2.10	9,363	5,117	15.82	44,232	47,930
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	1.45	4,019	4,136	▲ 0.53	▲ 750	▲ 1,123	▲ 0.30	63	▲ 683	0.62	3,332	2,330
	仮算定/現行 (伸び率)	115.26%	116.34%	113.09%	83.94%	89.29%	86.30%	87.50%	100.68%	88.22%	104.08%	108.15%	105.11%
江北町	現行	10.20	28,000	37,000	3.00	8,000	10,500	2.33	9,800	5,400	15.53	45,800	52,900
	仮算定	12.34	33,988	40,920	2.49	7,892	9,502	2.50	10,408	5,289	17.33	52,288	55,711
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	2.14	5,988	3,920	▲ 0.51	▲ 108	▲ 998	0.17	608	▲ 111	1.80	6,488	2,811
	仮算定/現行 (伸び率)	120.98%	121.39%	110.59%	83.00%	98.65%	90.50%	107.30%	106.20%	97.94%	111.59%	114.17%	105.31%
白石町	現行	9.00	23,000	33,000	2.90	7,000	8,200	2.20	10,300	7,000	14.10	40,300	48,200
	仮算定	10.73	21,538	30,074	3.18	6,232	7,107	2.50	9,374	5,728	16.41	37,144	42,909
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	1.73	▲ 1,462	▲ 2,926	0.28	▲ 768	▲ 1,093	0.30	▲ 926	▲ 1,272	2.31	▲ 3,156	▲ 5,291
	仮算定/現行 (伸び率)	119.22%	93.64%	91.13%	109.66%	89.03%	86.67%	113.64%	91.01%	81.83%	116.38%	92.17%	89.02%
太良町	現行	9.90	25,200	28,800	3.30	6,000	8,400	2.00	8,800	5,000	15.20	40,000	42,200
	仮算定	10.85	22,174	23,762	3.27	4,925	6,463	2.29	9,319	4,480	16.41	36,418	34,705
	仮算定と現行比較 (仮算定-現行)	0.95	▲ 3,026	▲ 5,038	▲ 0.03	▲ 1,075	▲ 1,937	0.29	519	▲ 520	1.21	▲ 3,582	▲ 7,495
	仮算定/現行 (伸び率)	109.60%	87.99%	82.51%	99.09%	82.08%	76.94%	114.50%	105.90%	89.60%	107.96%	91.05%	82.24%

○平成30年度標準保険税率（仮算定）によるモデル世帯の年間保険税額

●算定結果の主な傾向

- ・医療費水準が高く、収納率が低いと保険税額が高くなる傾向にある。よって、医療費水準が低く、収納率が高いと保険税額が低くなる傾向にある。
- ・平成30年度の標準保険税率の算定には基金繰入や法定外一般会計繰入を見込まないため、平成29年度に基金繰入や法定外一般会計繰入を見込んで保険税額を抑制している市町は、平成30年度と平成29年度の保険税額の差が大きくなる傾向にある。（このため、下表「H29【現行税率】②」及び「差額①-②」については、市町間の単純比較はできない。）

●4人世帯

(夫42歳・所得233万円、妻42歳・専業主婦、子10歳、子7歳)

(単位：円)

市町名	H30【仮算定】		H29【現行税率】	差額 ①-②
	順位	①	②	
佐賀市	5	520,800	489,600	31,200
唐津市	9	499,600	519,000	▲19,400
鳥栖市	6	510,500	505,000	5,500
多久市	2	547,600	485,700	61,900
伊万里市	18	463,100	499,300	▲36,200
武雄市	3	547,200	503,300	43,900
鹿島市	10	498,000	511,300	▲13,300
小城市	11	497,100	487,100	10,000
嬉野市	7	503,300	504,700	▲1,400
神崎市	14	487,500	468,200	19,300
吉野ヶ里町	12	494,800	447,100	47,700
基山町	17	471,200	452,000	19,200
上峰町	15	484,800	454,000	30,800
みやき町	16	472,600	475,200	▲2,600
玄海町	20	436,800	409,300	27,500
有田町	19	441,700	480,900	▲39,200
大町町	4	522,400	494,600	27,800
江北町	1	590,500	527,100	63,400
白石町	8	500,800	470,800	30,000
太良町	13	489,800	488,600	1,200

●2人世帯

(夫66歳・年金80万円、妻66歳・年金80万円)

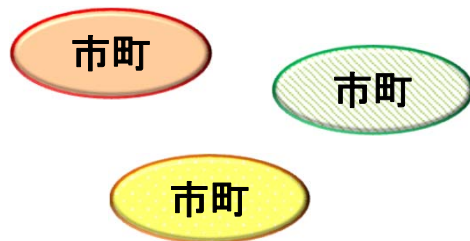
(単位：円)

市町名	H30【仮算定】		H29【現行税率】	差額 ①-②
	順位	①	②	
佐賀市	5	32,900	31,200	1,700
唐津市	16	29,400	29,700	▲300
鳥栖市	2	34,000	32,100	1,900
多久市	3	33,900	30,700	3,200
伊万里市	18	27,100	32,200	▲5,100
武雄市	8	32,400	33,000	▲600
鹿島市	14	30,800	31,000	▲200
小城市	8	32,400	31,900	500
嬉野市	5	32,900	32,900	0
神崎市	15	30,100	30,000	100
吉野ヶ里町	13	31,100	29,000	2,100
基山町	10	32,000	31,500	500
上峰町	11	31,300	29,700	1,600
みやき町	11	31,300	31,300	0
玄海町	7	32,600	29,900	2,700
有田町	19	26,500	32,400	▲5,900
大町町	4	33,600	30,800	2,800
江北町	1	40,100	35,800	4,300
白石町	17	27,700	30,300	▲2,600
太良町	20	25,200	29,800	▲4,600

※順位は、保険税額が高い順

- 平成30年度から、県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的な役割を担い、制度を安定化
 - ・ 県は、国保の運営方針を定め、市町の事務の効率化・広域化等を推進
 - ・ 県は、市町ごとの納付金及び標準保険税率を算定し、各市町へ提示
 - ・ 県から給付費に必要な費用は、全額を市町に交付
- 市町は、地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険給付、保険税率の決定、賦課・徴収、保健事業等、地域におけるきめ細かい事業を引き続き担う

【現行】市町が個別に運営

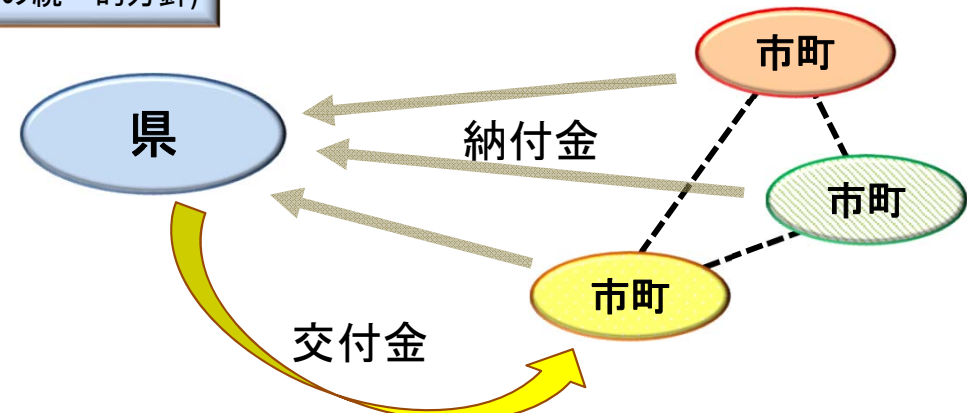


【改革後】県も保険者となり共同運営

国保運営方針策定
(県内の統一の方針)

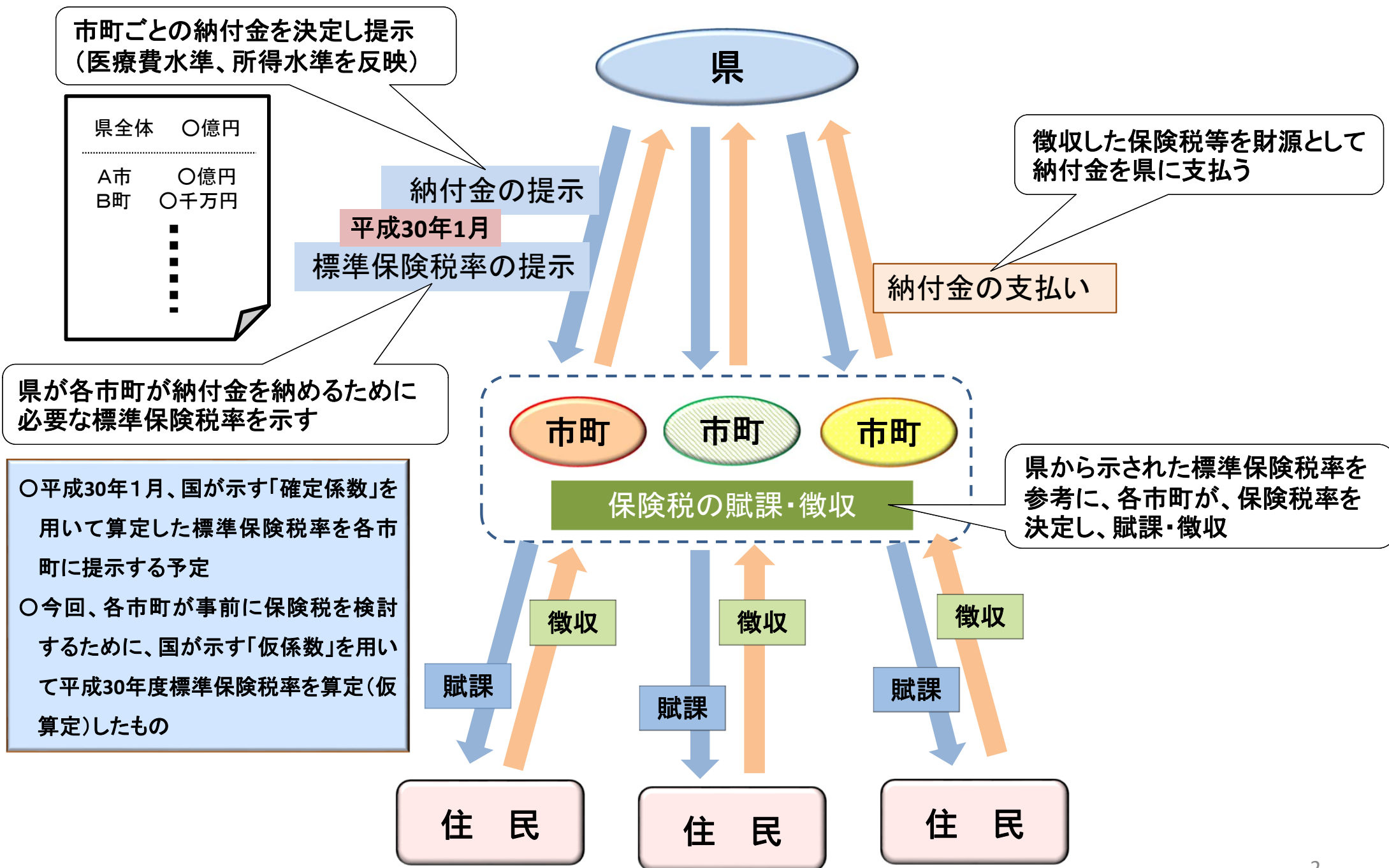
納付金及び標準保険税率の算定・提示

平成30年1月



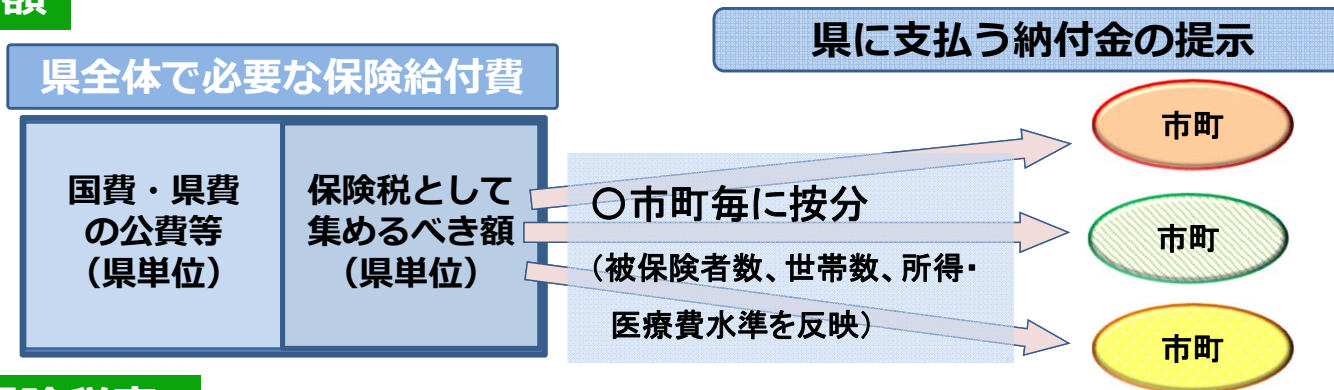
今回公表する「標準保険税率」は国が示す仮係数を用いて算定したもの

国保保険税の賦課、徴収の仕組み(イメージ)

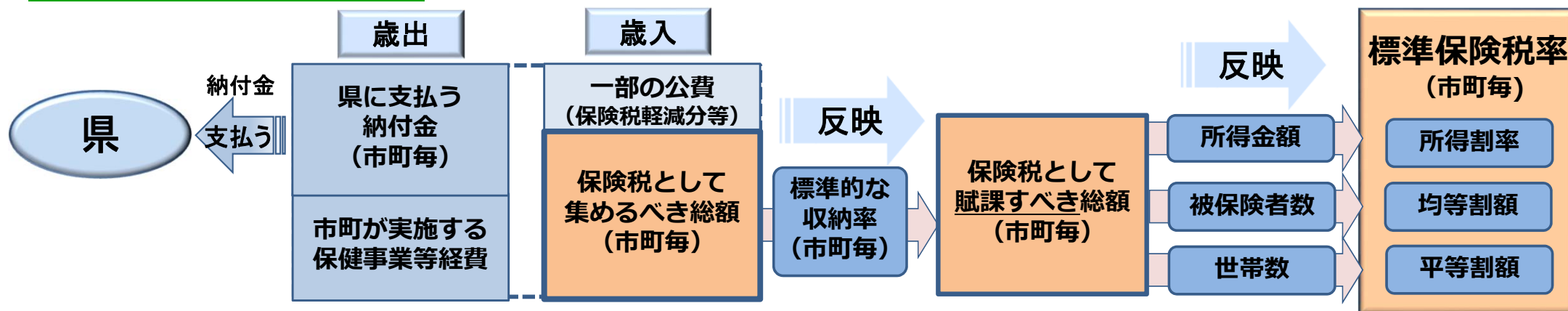


納付金及び標準保険税率の算定と提示

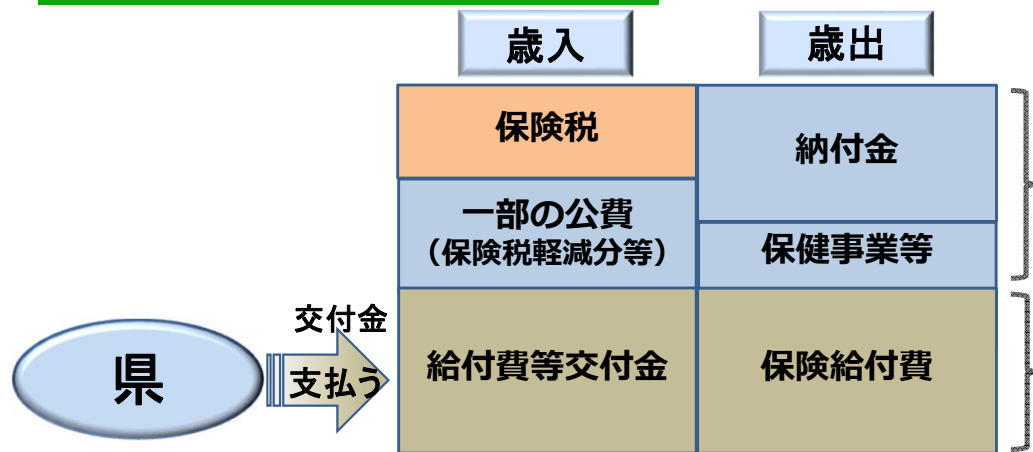
市町毎の納付金額



市町毎の標準保険税率



市町の歳入歳出イメージ図



$$(\text{納付金} + \text{保健事業等}) - \text{一部の公費} = \text{保険税}$$

- 標準保険税率を賦課し、予定収納率分の保険税を徴収することができれば、基本的には赤字は発生しない。

$$\text{保険給付費} = \text{給付費等交付金}$$

- 県から市町へ全額支払う (赤字は基本的に発生しない)

実際の保険税額と本来賦課すべき保険税額の違い

激変緩和の考え方

